

伝統野菜の調達、
産地・生産者・流通
の現状と課題

報告 高橋芳江

2. 伝統野菜の調達、産地・生産者・流通の現状と課題

1. 伝統野菜の調達

- ・講師からの紹介 調達
- ・農産園芸課 地方自治体の管轄 伝統野菜担当者
- ・営農センター 農業協同組合
- ・直売所
- ・市場
- ・生産者からの直送
- ・書籍を調べて 例)『都道府県地方伝統野菜百科』
『伝統野菜で旬を食べる』

実際に産地を見てみたい・必要性を感じ、2014年頃より
産地の取材を開始

2. 産地の現状

①JAの取り組み 産地拡大



三重なばな(三重)



日野菜(滋賀)

①JAの取り組み 産地拡大



うすいえんどう(和歌山)

②地域の伝統の味、金山寺みその材料の茄子



湯浅なす(和歌山)

③小さな耕作地でわずかにつなぎ、地元で消費



朝熊小菜
(三重)



鳴沢菜
(山梨)



昔きゅうり
(福島・いわき)

③ 小さな耕作地でわずかにつなぎ、地元で消費



ごうしゆいも
(徳島)



おいねのつるいも
(東京)

④地域の方が取組んでつなげようと頑張っている



桐岡なす(佐賀)
～西多久町を考える会～



田村かぶ(高知)
～田村蕪株式会社プロジェクト～

⑤伝統野菜を見直そうとする取り組み



潮江菜(高知)
～高知県の牧野野菜～

⑥伝統野菜の仲間入り



出雲おろち大根
(島根)

3. 問題点

- ・高齢者が多く、先細り傾向
- ・流通コストがかかる
- ・少量生産に伴う、数量が揃わない

4. 今後の課題

- ・情報を広げたり、ネットワークをつないでいく
- ・他の県にも知らしめ、地域おこしの一端になれば
- ・価格が安いものが求められる傾向